



基本理念

この病院で最も大切なのは患者さんです

The Most Important In This Hospital is the Patient.

安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します

人権を尊重し、患者さんが安心し、納得する精神医療・ケアを提供する
説得力のある最新の医学的根拠に基づいた治療を目指す
政策医療を中心に高度の医療サービスを提供する
高度・先駆的な精神医療を模索し、研究・教育・研修に力を入れる
自然に囲まれた落ち着いたアメニティーを提供する
地域の医療機関と協力して心の健康作りをめざす

M E N T A L
Mental Care
EBM
National Policy
Teaching
Amenity
Local Network

Contents

院長就任のご挨拶	2
転入者・新規採用者あいさつ	3~4
人事異動	4
東病棟（医療観察法）の紹介	5
ひな祭り会を開催しました	5
令和4年度療養介助員個人目標取り組み発表会	6
消防訓練を実施しました	7
外来診療のご案内	8

発行所：〒861-1116 熊本県合志市福原208
独立行政法人国立病院機構 菊池病院
編集発行：広報誌編集委員会



ホームページ
QRコード

院長就任のご挨拶

院長 山下 建昭

NHO KIKUCHI HOSPITAL



令和5年4月1日より渡邊健次郎院長の後を受けまして、院長に就任いたしました。

まず、簡単に自己紹介させていただきます。熊本生まれ、熊本育ちです。

昭和58年に熊本大学神経精神科に入局し、2年間の大学病院での研修の後、昭和60年4月から昭和61年3月まで国立琉球病院に勤務致しました。

その後、熊本大学病院に戻り、アルツハイマー型認知症の脳神経病理学的研究に取り組み、平成14年6月からは国立熊本病院（現、国立病院機構熊本医療センター）で総合病院の精神科医としてリエゾン活動や精神障害の方の合併症治療や身体的治療を要する自傷・自殺未遂の方の対応を行って参りました。

菊池病院には令和4年9月から特命副院長として勤務しておりました。

さて、当院は昭和52年、精神療養所に転換して以来、認知症疾患および重度心障児（者）の医療に取り組んできた伝統があります。

現在もこの伝統を引き継いでおり、当院の基本

理念である「この病院で最も大切なのは患者さんです」「安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します」のもと、子供からお年寄りまで安心して生活できるよう、国立病院機構のセーフティネット系の病院として活動しております。

これからも、関係各所と連携しながら、地域社会に貢献して参りたいと思います。

また、療養される方を元気にするためには、職員の皆さんが元気でなくてはなりません。職員の皆さんが、熱意をもって仕事に取り組めるよう、職場環境の整備にも注意を向けてまいりたいと思います。

当院は令和2年1月、関係各位のご努力で新病棟が完成し、素晴らしい療養環境、職場環境の整備が整いました。

今後も、健全な病院運営を念頭に置きながら、当院が益々、社会に貢献できますよう、皆様と共に取り組んで参りたいと思いますので、ご協力、ご支援、ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。



転入者

新規
採用者

あいさつ



精神科医師

和田浩稔

令和5年4月より、菊池病院で週4日勤務させていただきます和田浩稔と申します。令和3年に熊本大学神経精神科に入局し、熊本大学病院、熊本医療センターで1年ずつ勤務しました。医師になって5年目、精神科医としては3年目になります。

昨年度は菊池病院で週1日勤務させていただいておりました。自然豊かな環境であり、季節の移り変わりを楽しみにしておりました。今年度は週4日勤務できることになり、とてもうれしく思います。これまで数多くの先生方が勤務された病院であり、身の引き締まる思いです。

患者様やご家族に満足していただけるよう精一杯がんばりたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



精神科医師

宮谷龍之介

皆様はじめまして。今年度、菊池病院に赴任しました医師の宮谷龍之介です。精神科としては2年目のベーパーではございますが、頑張っていくしますのでよろしくお願ひします。完全なる私事ではございますが、赴任して早々、子供が産まれました。第一子で女の子です。人生の節目を感じるとともに、主人公が交代したような思いがあります。今回、名付けに関して、「百花春至為誰開（百花春至って誰がためにか開く）」という禅語を用いました。「春になると咲く色とりどりの花は誰のための咲いているのか」という問いかけです。花は無心に咲いている一方で、自然の営みの一部となり、また、人々の心も和ませており、無心に咲くことで他を活かすことができている。転じて、あるがままに生きてほしいという思いを込めて名付けています。マインドフルネスの考えと似ていて、あるがままを受け止め、無心に生きる、簡単なようでとても難しいと感じる毎日です。自分にできることを着実に一歩ずつできたらいいなと思います。



副作業療法士長

吉田和史

都城医療センターより異動で参りました。作業療法士の免許を取得後、精神科病院での勤務は初めてです。民間の回復期リハビリ病院後、国立病院に就職し現在の国立病院機構に至っても、常に急性期の医療センターのみの異動でした。自宅は鹿児島で、単身赴任先より帰省するときなど移動で熊本の地を通り過ぎることはありましたが、熊本県下の赴任は初めてです。いろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



主任栄養士

緒方ゆり

4月1日付で熊本南病院から異動で参りました栄養管理室の緒方ゆりと申します。お隣の菊陽町出身・在住で、前任地までは毎日高速道路を利用して通勤していました。趣味はドライブと旅行で週末はくまモンナンバーの愛車で出かけています。精神科施設での勤務は初めてで不慣れな点もあるとは思いますが、患者様一人一人のために何ができるのか日々考え、1日も早くお役に立てるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



副看護部長

南利朱美

この度、令和5年4月1日付で熊本医療センターより異動となりました副看護部長の南利朱美と申します。精神科での勤務は初めてであり、色々なことが学びの毎日です。今までの経験では見えていないこと、菊池病院での医療の専門性、地域とのつながりを職員の皆様や患者様から学び、深めていきたいと思っております。新たな環境で不安もありますが、看護が楽しいと思えるように取り組んでいきたいと思ひます。これから、どうぞ宜しくお願ひ致します。



副看護師長

樋口昌宏

4月より東佐賀病院から赴任で参りました。精神科施設は初めてで、これから自分なりに頑張りたいと思っております。初めての事が多く不安と楽しみがあり一日一日を大事に過ごしたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



副看護師長

今津宗一郎

4月から熊本医療センターより南2病棟へ移動してきました。以前は京都・滋賀・福井で治験コーディネーターを兼任し色々な診療科を経験してきました。精神科は京都で勤務していたため初めてではないのですがいろいろな診療科での経験を生かしていけたらと思ひます。至らない点も多いと思ひますがよろしくお願ひします。



看護師

脇坂良子

初めまして。国立精神・神経医療研究センター病院からこちらに異動になりました脇坂良子と申します。これまでの経験を活かしつつ、出来る限り早く戦力になれるよう精進いたします。皆様どうぞ、御指導、御鞭撻のほど、何卒宜しくお願ひいたします。



業務班長

和田 典大

4月1日付けで熊本医療センターから異動で参りました業務班長の和田と申します。菊池病院では以前働かせていただいたことがあり、2回目の勤務です。微力ながら病院運営に貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。慣れないところが多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



専門職

山本 悠介

西別府病院より赴任しました専門職の山本と申します。

ここに来て2週間程で、宮本、松本、山下とかつてない程に名前を間違われました。面白いからいいんですが、程々でお願い出来ればと思います。

早く業務に慣れて少しでもお力になれるよう精進しますので、よろしくお願い致します。



庶務係長

中川 湧輝

鹿児島医療センターより異動してまいりました庶務係長の中川と申します。出身は熊本県で、地元で働くことができ大変嬉しく思います。業務内容としては人事・給与・労務に関することが主となりますのでご不明点等があれば気兼ねなくお声がけください。私自身も日々学びながら皆様のお力になれるよう尽力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



契約係

川崎 晴菜

4月より新規採用で参りました。出身は熊本で大学生活を福岡で過ごしました。

契約係としてみなさんと接する機会も多くなると思います。

新社会人として初めての勤務ですのでご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、よろしく申し上げます。

病院についての様々な知識を早く覚えられるように頑張ります。

人事異動

PERSONNEL CHANGES

氏名	現 職 種(名)	→	新 配 置	新 職 種(名)
----	----------	---	-------	----------

定年退職者（一部再雇用）

渡邊健次郎	院長	→	退 職	(非常勤採用)
井筒屋 聡	臨床検査技師長	→	退 職	(再雇用)

退職者

吉安 真弓	看護師	→	退 職	
荒木 恵子	療養介助専門員	→	退 職	
中野 駿介	看護師	→	退 職	
福本 伊純	一般職員(医事係)	→	退 職	
木下 聡	非常勤精神科医師	→	退 職	
森並 次朗	非常勤精神科医師	→	退 職	

転出者

西口 悠架	副看護部長	→	琉球病院	副看護部長
池田かおり	主任栄養士	→	九州医療センター	主任栄養士
長岡 徹哉	専門職	→	沖縄病院	経営企画室長
上原 康弘	業務班長	→	福岡病院	専門職
佐伯 勇輔	庶務係長	→	指宿医療センター	専門職
有田 凌央	給与係	→	鹿児島医療センター	経営企画係長
中山 大地	看護師	→	熊本医療センター	看護師
本田 義大	看護師	→	神戸医療センター	看護師

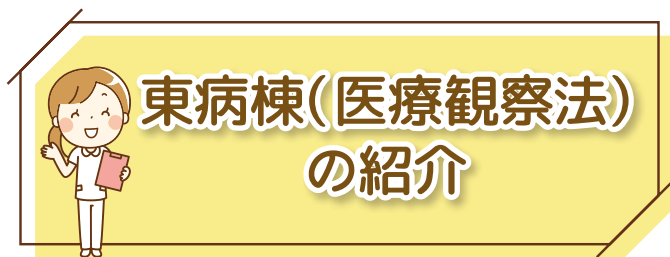
(令和5年3月31日、令和5年4月1日)

採用者

宮谷龍之介	医局	非常勤精神科医師
和田 浩稔	医局	非常勤精神科医師
川崎 晴菜	事務部	一般職員(契約係)

転入者

南利 朱美	熊本医療センター	→	看護部	副看護部長
緒方 ゆり	熊本南病院	→	栄養管理室	主任栄養士
吉田 和史	都城医療センター	→	リハビリテーション科	副作業療法士長
山本 悠介	西別府病院	→	事務部	専門職
和田 典大	熊本医療センター	→	事務部	業務班長
中川 湧輝	鹿児島医療センター	→	事務部	庶務係長
樋口 昌宏	東佐賀病院	→	看護部	副看護師長
今津宗一郎	熊本医療センター	→	看護部	副看護師長
脇坂 良子	国立精神・神経医療研究センター病院	→	看護部	看護師



東病棟(医療観察法) の紹介

看護師長 熊丸 益基

「医療観察法」の正式名称は、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」です。平成15年7月に成立し平成17年7月に施行されました。

この法律は、心神喪失又は心神耗弱の状態で重大な他害行為を行った方を対象として、社会復帰を継続的に支援・促進することを目的としています。



東病棟外観

指定入院医療機関の整備状況ですが国関係16施設、都道府県が18施設、合計850床整備されそのうちの1つが菊池病院の東病棟になります。

病棟はノーマライゼーションの観点を踏まえた対象者の社会復帰の早期実現、プライバシー等の人権に配慮しつつ透明性の高い医療の提供を目指しチーム医療で取り組んでいます。



ひな祭り会を開催しました

療養介助専門員 南病棟1階 大田黒 祐樹

南病棟1階は認知症治療病棟で現在42名の患者様が入院されています。その中で、入院生活を楽しく過ごして頂くために季節の行事を開催しています。今回は3月8日に待ちに待ったひな祭り会を開催しました。クイズでは皆で答えが何か考え、ボーリングでは白熱したゲーム展開で患者さんから歓声と笑顔が見られていました。このひな祭り会を開催

するために、1ヶ月前から多職種や患者さんと一緒に御内裏様とお雛様に見立てたボーリングのピンを製作し、準備をして来ました。ゲームを楽しんだ後は、お楽しみの行事のデザートでティータイムを楽しみ皆さん美味しそうに食べられていました。今後も患者さんと一緒に楽しめる行事を開催していきたいと思います。



令和4年度

療養介助員個人目標取り組み

発表会



北病棟1階 看護師長 宮川 さおり

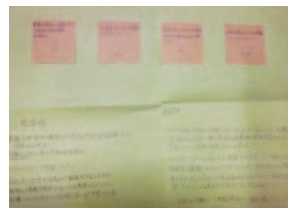
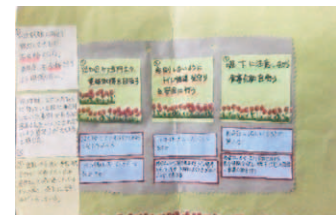
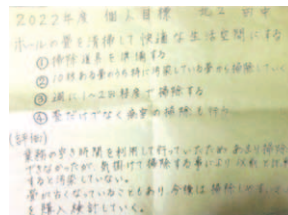
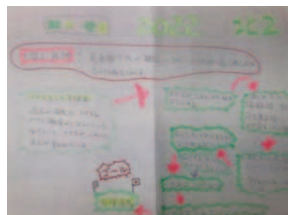
当院では多くの療養介助専門員、療養介助員が重病棟、認知症病棟などで活躍しています。私は療養介助職員会議を担当し、皆と療養介助員の専門性についてディスカッションしてきました。「介助員は、患者の一番近くにいることがメリットで、ニーズを汲み取る能力が大切」「日々の生活をみながら、看護師と意見交換を行い連携していく必要がある」「患者の微妙な表情や動きの違いなど、看護師へ伝える努力をしている」など、様々な意見交換ができました。このような意見を活かしていくために、どのような働きかけを行うべきか考えました。

そこで、令和4年度の活動取り組みとして、個々が「思い」を実践に移すため、個々の年間活動の目標を掲げ、ポートフォリオを使い個人の努力や成果を集積し、皆にも見える形を提案しました。また、学びたい学習内容の検討を行い、e-ラーニング研修と講義を計画しました。初めての取り組みで、どんな目標をたてポートフォリオを作成していくか戸惑う声も聞かれましたが、個々の目標に向かって、生き生きと取り組む姿が伺えました。この提案は、自部署での役割理解にもつながり、患者に質の高い介護提供を考える良いきっかけとなったと考えます。また、発表会での感想より「目標があったことで意欲的になれた」「自分を振り返りスキルアップできた」など前向きな意見が聞かれ、介護の専門家として看護チームの一員としての活動ができたと考えています。



発表会風景

個人目標達成の ポートフォリオ





消防訓練を実施しました

庶務班長 大渡 浩之

令和5年2月2日（木）、当院の南病棟3階リハビリテーション科にて令和4年度2回目の消防訓練を以下の内容で実施しました。

- ① ビデオによる通報、初期消火、避難講習
- ② 休憩室設置の救助袋を用いた3階からの避難訓練。

②については、消防設備業者による救助袋の設置方法説明の後、実際に10名程、3階の窓から救助袋を用いて、1階までの降下を体験しました。

初めて救助袋を体験する職員も多く、垂直に降下するため、「怖そう」と身構える職員も多かったですが、実際に体験した後は「思ったほど怖くなかった」「普段体験出来るものではないので、面白かった」等の感想がありました。

使用する機会がないことが一番ですが、いざという時に設置ができ、スムーズに避難ができるよう、今後も訓練を重ねていきたいと考えております。



外来診療のご案内 GUIDANCE OF OUTPATIENT CARE

(令和5年4月1日現在)

項目	月	火	水	木	金
新患	田中亨		三浦 (午前)		渡邊
	西尾		(西尾)		
もの忘れ 外来新患	(塩沢)	塩沢	塩沢		
子供外来	田中恭 (再来) (午後 ※ 第1以外)		田中恭 (再来・新患) (午後)		田中恭 (再来) (午前)
再来	塩沢	宮谷	渡邊	坂西	田中亨
	三浦 (午後)	山下	両角	西尾	塩沢
			三浦 (午後)	和田	
				島本	山下 (午前)

【専門外来】

- ◆ 老年期・・・担当医：塩沢
- ◆ 物忘れ外来・・・認知症予防と認知症に対する専門外来を行っております。
- ◆ MRI検査・・・当院にてMRI検査を受けることができます。

【受診方法】

- ◆ 診察については予約制となっております。
- 初診の方：地域医療連携室で予約を行っております。電話番号は096-248-2111
- 再診の方：診察後、次の診察日をご予約下さい。予約の無い方は外来に電話で予約して下さい。

【診察時間】

- 受付 8:30～15:00
- 診療 8:30～17:00
- 休診 土・日曜、祝祭日、振替休日、年末年始（12月29日～1月3日）



交通機関

- JR豊肥本線三里木駅下車
タクシー10分
- 熊本空港よりタクシー約20分


独立行政法人 国立病院機構 菊池病院
 〒 861 - 1116 熊本県合志市福原 208
 TEL 096 - 248 - 2111 FAX 096 - 248 - 4559
<https://kikuchi.hosp.go.jp/>